

2024年2月期 決算説明資料

(2023年3月1日～2024年2月29日)

2024.3.29



目次

- ソリューション提供モデルと経営環境
- 2024年2月期 決算概要(連結)
- 2025年2月期 業績見通し(連結)
- 22-24年度 中期経営計画 ～ 2023年度遂行状況と2024年度取組み～
- 株主還元

ソリューション提供モデルと 経営環境



 YE DIGITAL

ソリューション提供モデルと経営環境

ソリューション提供モデル

経営環境

顧客・ユーザー

① ビジネスソリューション

ビジネスDX
(ERPソリューションなど)

顧客向けシステム開発

⋮

② IoTソリューション

物流DX

畜産DX

スマートシティ

⋮

③ サービスビジネス

Smart Service AQUA

- サステナビリティ経営の重要性
- 人的資本経営の重視(人材育成、多様な人材の活用、インゲージメント等)
- 社内DX、業務改革の推進・強化 など

① ビジネスソリューション

- 「2025年の崖」の直面と克服、ITシステムの老朽化/IT人材不足
- 国内のDXの取り組みの遅れ、未着手企業が多数

② IoTソリューション

- 人手不足/従事者の高齢化(畜産業界、物流業界など)
- 環境問題や食品ロス問題等の対応(地球温暖化、畜産環境問題、食品ロス・廃棄ロスなど)

③ サービスビジネス

- クラウド需要の拡大と成長
- 消費行動の変化と多様性の進化
- ビジネスモデルの創出と進化
サブスク、シェアリングエコノミーなど

2024年2月期 決算概要(連結)



 YE DIGITAL

2024年2月期（連結）業績サマリー

売上高

19,504 百万円 (+20.8%) 

ERPソリューション、物流DX分野が拡大

営業利益

過去
最高

1,488 百万円 (+63.6%) 

間接費増や原価率上昇も売上増により増益

営業利益率

7.6 % (+2.0 pt) 

営業利益率も改善

※()内の数値は前連結会計年度比

2024年2月期（連結）業績

- DX化需要の増加に伴い、ビジネスDXや物流DXが好調に推移し、**増収増益**
- 労務関係費増や拠点統合に伴う一時費用発生などにより間接費が増加するも、売上増により**利益大幅増**
- 利益面では**過去最高益**を更新

単位：百万円 (百万円未満切捨て)	2023年2月期 実績	2024年2月期 実績	増減額	増減率
売上高	16,151	19,504	+3,353	+20.8%
うち ビジネスソリューション	11,899	15,024	+3,125	+26.3%
うち IoTソリューション	4,251	4,479	+227	+5.4%
営業利益	909	★ 1,488	+578	+63.6%
経常利益	836	★ 1,559	+723	+86.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	783	★ 1,092	+308	+39.4%
1株当たり当期純利益金額：円	43.19	60.22	+17.03	+39.4%

※サービスビジネスの売上は、ビジネスソリューションとIoTソリューションに含まれています。

※★は過去最高

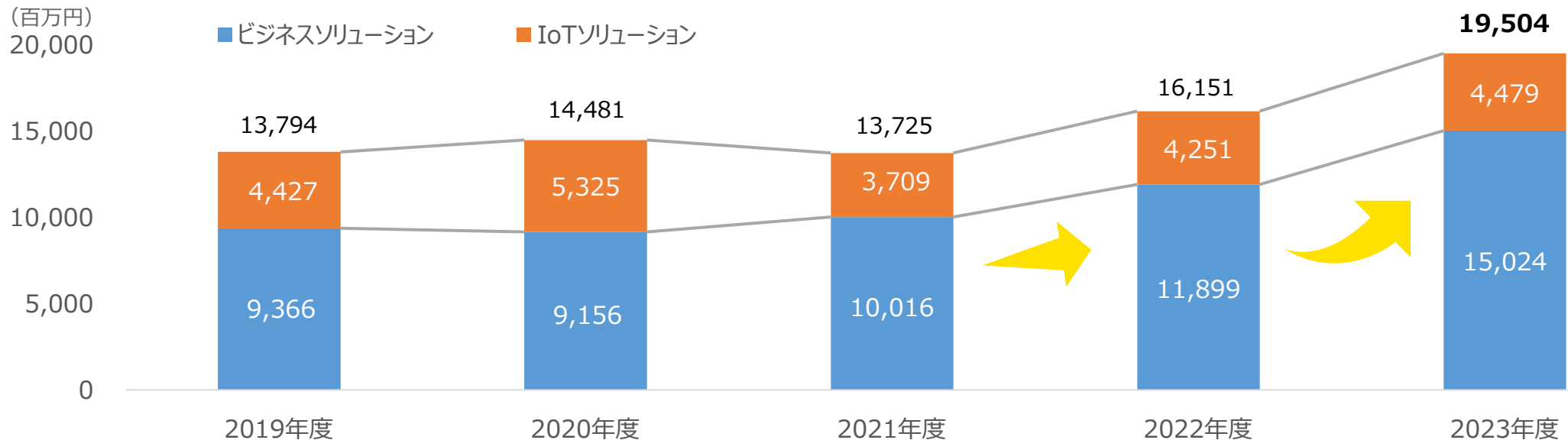
2024年2月期（連結） 事業別の概要

ビジネスソリューション

- **売上高は150億24百万円（前連結会計年度比26.3%増）**
- ERPソリューションは、当社プライムでのビジネスDX推進・構築の継続的な取組みにより引き続き好調に推移し、前年度に比べ増加
- 健康保険者向けシステム構築は、大規模プロジェクトの遂行により増加

IoTソリューション

- **売上高は44億79百万円（同5.4%増）**
- 物流DX事業は、旺盛な需要に対するソリューション拡販により好調に推移し、前年度に比べ増加
- インターネット・セキュリティ関連製品は、増加
- 畜産DX、スマートシティ向けソリューションは、減少



2021年度から
**2期連続
増収!**

営業利益増減要因分析（2023年2月期～2024年2月期）

(百万円)

3,500

3,000

2,500

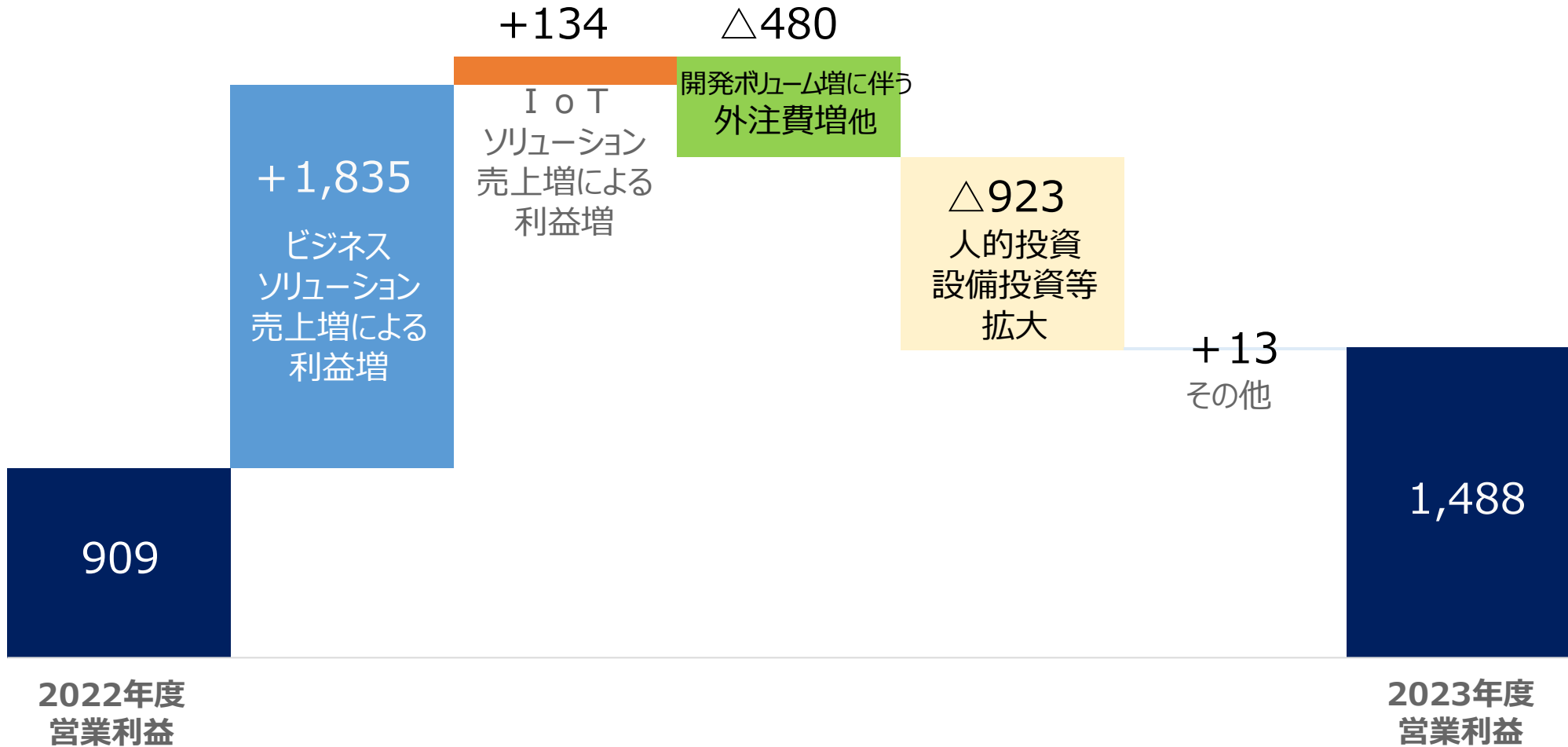
2,000

1,500

1,000

500

0



2024年2月期 期末貸借対照表 (対前連結会計年度末比)

単位：百万円 (百万円未満切捨て)	2023年2月期 期末残高	2024年2月期 期末残高	増減額	主な内訳
流動資産	8,367	8,858	+ 491	契約資産14億49百万円増、売掛金 9 億11百万円減
固定資産	3,278	3,465	+ 187	投資その他の資産のその他 2 億37百万円増、繰延税金資産39百万円増、 建物及び構築物（純増）62百万円減
資産合計	11,645	12,324	+ 678	
流動負債	4,480	4,143	△ 337	支払手形及び買掛金 3 億16百万円減、契約負債 1 億8百万円減、 資産除去債務53百万円増
固定負債	2,119	2,007	△ 112	退職給付に係る負債 1 億 8 百万円減
株主資本	5,150	6,061	+ 910	
純資産	5,044	6,174	+ 1,129	利益剰余金 9 億10百万円増、新株予約権 1 億13百万円増、 退職給付に係る調整累計額99百万円増
負債純資産合計	11,645	12,324	+ 678	
自己資本比率	40.8%	46.8%	+ 6.0%	
ROE	17.2%	20.8%	+3.6%	

2024年2月期 キャッシュフロー(連結)

単位：百万円 (百万円未満切捨て)	2023年2月期 実績	2024年2月期 実績	増減	23年度の概況
現金及び現金同等物の期首残高	2,735	2,635	△100	
営業活動による キャッシュフロー	563	545	△17	税金等調整前当期純利益15億29百万円、減価償却費2億90百万円、株式報酬費用1億13百万円、法人税等の支払額5億61百万円、売上債権及び契約資産の増加5億65百万円、仕入債務の減少3億16百万円
投資活動による キャッシュフロー	△478	△504	△25	敷金の差入による支出2億23百万円、有形固定資産の取得による支出1億37百万円、無形固定資産の取得による支出1億11百万円
財務活動による キャッシュフロー	△188	△191	△3	配当金の支払額1億81百万円
現金及び現金同等物の期末残高	2,635	2,486	△148	

2025年2月期
業績見通し(連結)



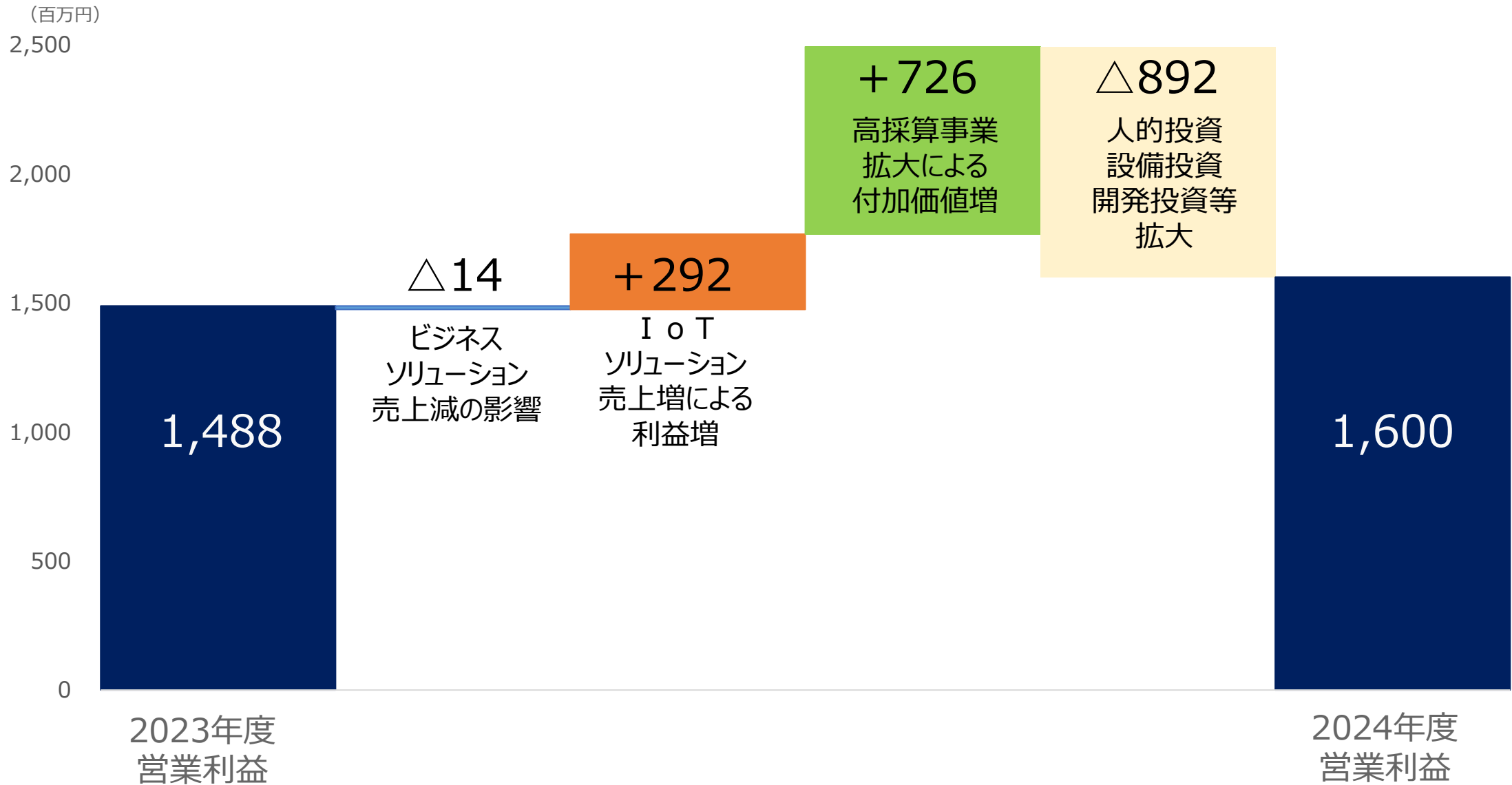
 YE DIGITAL

2025年2月期 通期 業績見通し(連結)

- 大規模プロジェクトの一段落する**ビジネスDXは新規案件獲得に展開し**、投資意欲が旺盛な**物流DXを中心に事業拡大を図り、最高収益更新を目指す**
- **次期中期経営計画を見据え**、注力分野であるIoT事業や人的資本などの**成長に向けた投資を計画**
- 年間配当は16円、前年度比+4円の**増配** 中間配当は8円、前年度比+3円の**増配**

単位：百万円 (百万円未満切捨て)	2024年2月期実績	2025年2月期予想	増減額	増減率
売上高	19,504	20,000	+495	+2.5%
うち ビジネスソリューション	15,024	15,000	△24	△0.2%
うち IoTソリューション	4,479	5,000	+521	+11.6%
営業利益	1,488	1,600	+111	+7.5%
経常利益	1,559	1,650	+90	+5.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,092	1,050	△42	△3.9%
1株当たり当期純利益金額：円	60.22	57.90	△2.32	△3.9%
年間配当金（うち中間配当金）	12円(5円)	16円(8円)	+4円(+3円)	+33.3%(+60.0%)

営業利益増減要因分析（2024年2月期～2025年2月期）



22-24年度 中期経営計画

～ 2023年度遂行状況と2024年度取組み ～



 YE DIGITAL

22-24年度 中期経営計画の基本方針

お客様に選ばれる「No.1企業」へ

変革と挑戦により、お客様に感動を与える画期的なソリューションを提供し、「お客様に選ばれるNo.1企業」を実現する

方針1. 世界水準のビジネスDX推進力による顧客ニーズの獲得拡大

- ① 経験と実績を活かしたビジネスDXの展開と拡大
- ② 強い信頼構築による顧客エンゲージメントの深化
- ③ 事業成長に向けたDX人材の育成と配置の最適化

方針2. 社会をリードするAI・IoT製品による事業規模・領域の拡大

- ① 中核事業へと成長する売上拡大・展開の仕組み構築
- ② 期待に応えるプライムベンダーとしての地位獲得
- ③ 持続的成長につながるAI・IoTビジネスモデルの確立と定着

方針3. 顧客に感動を与えるサービス提供によるストック率の拡大

- ① DXとIoT事業の基盤となるサービス化の促進
- ② AQUAを起点とするカスタマーディライトの創出
- ③ AI・IoTの活用領域を広げるサービスビジネスの創造と拡大

方針4. 社員と会社の挑戦と成長によるサステナビリティ経営の実現

- ① 変革をリードする戦略的人材の育成
- ② 挑戦と成長を応援する働きがいのある会社の実現
- ③ 競争優位性を確立するDX Next Stageのステップアップ

22-24年度 中期経営計画 実績と24年度方針

22-24 中期経営計画

25-27
次期中期
経営計画

2022年度 実績

2023年度 実績

2024年度 方針

成長

収穫

安定収穫と拡大

方針

大きな飛躍へ向けて
22-24中期経営計画スタート

更なる挑戦によって事業成長を
加速し大きな飛躍を目指す

**次期中計の高成長軌道を描く
起点となる**

業績

売上高・利益ともに目標達成

売上 **2024年度目標を前倒しで達成**
利益 **目標達成、最高益更新**

過去最高収益の更新を目指す

売上高 161.5億円
営業利益 9.0億円

売上高 195.0億円
営業利益 14.8億円

売上高 200.0億円(計画値)
営業利益 16.0億円(計画値)

成果
・
取組み

- ・ビジネスDXリーディングセンター開設
- ・IoT新ソリューションを市場投入
(MMLogiStation・Milfee)
- ・Smart Service AQUA移転・拡張

- ・ERPソリューション、物流DXが好調
- ・MMLogiStation受注拡大
- ・物流DXサービスセンター開設

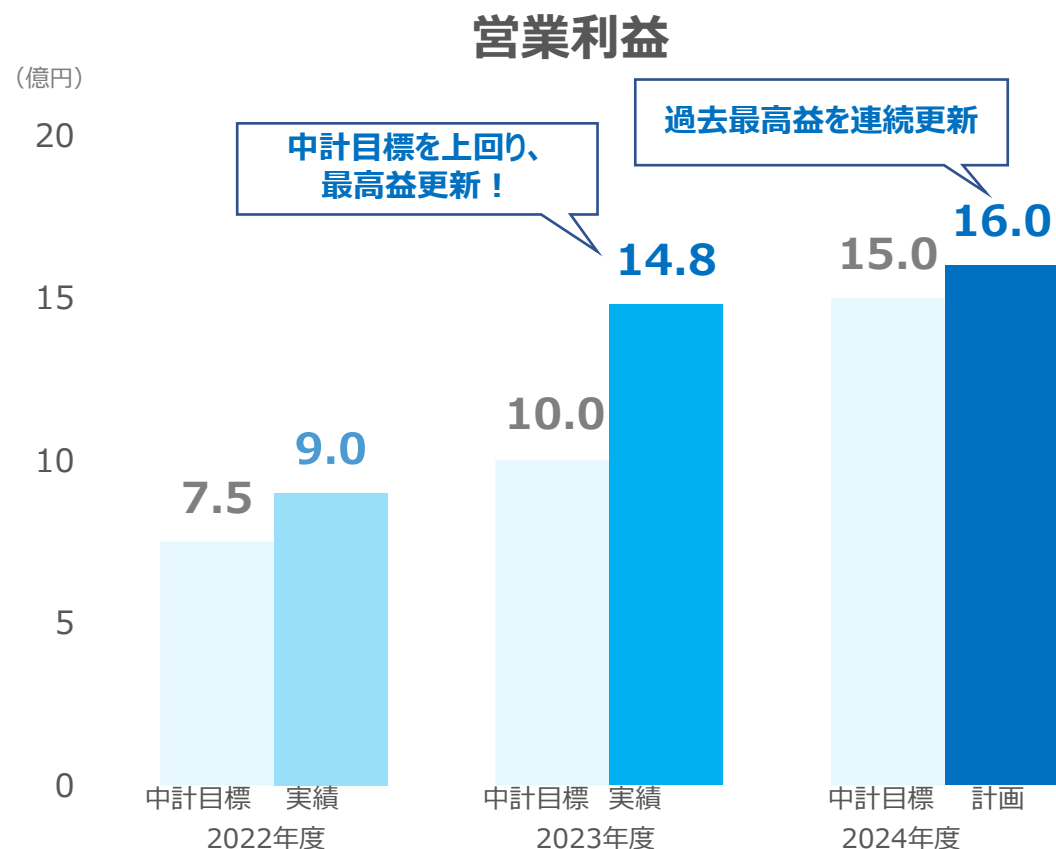
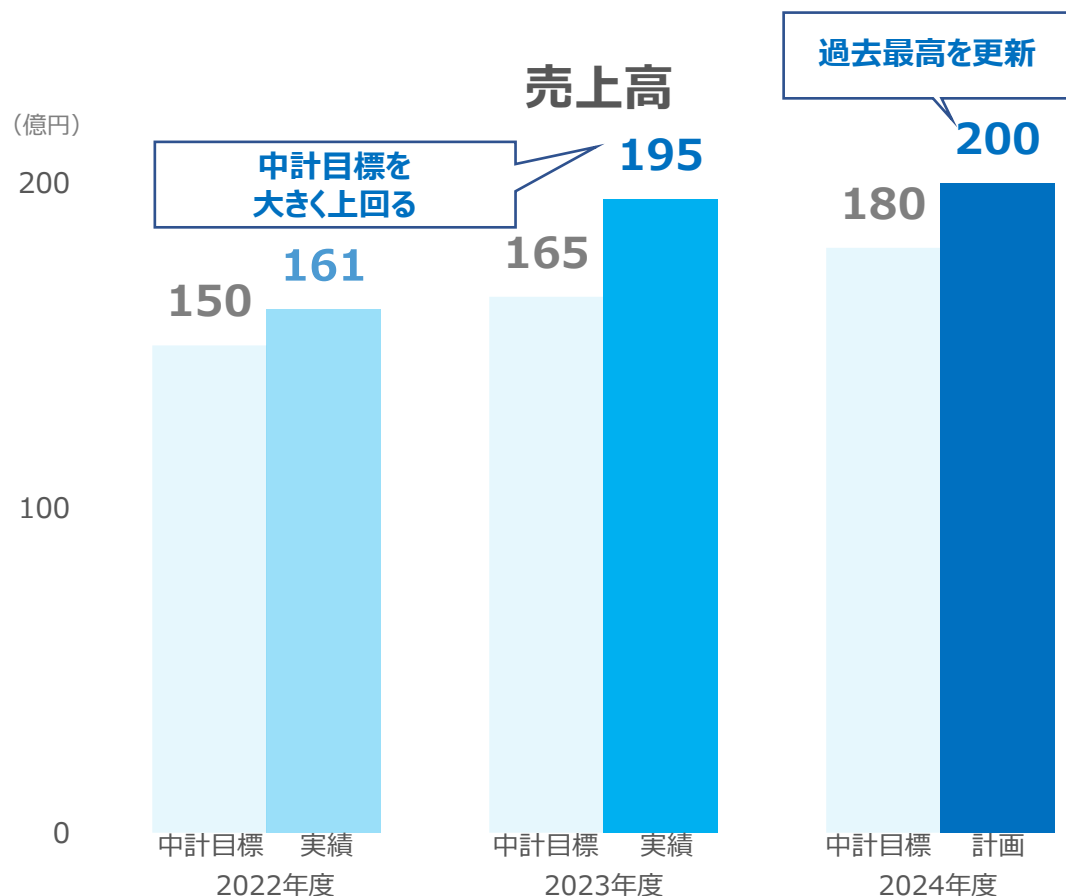
- ・IoT事業の**飛躍的拡大**
- ・ビジネス事業の**高収益継続**
- ・サービス事業の**ストック率拡大**

更なる
企業
成長へ

22-24年度 中期経営計画の遂行状況

遂行状況

2023年度は、売上高・営業利益とも中計目標を大きく上回る！営業利益は最高益を更新！
2024年度は、売上高・営業利益とも過去最高の更新を目指すとともに、次期中計への足場を固める！



22-24年度 中期経営計画の遂行状況（2023年度）

方針1. 世界水準のビジネスDX推進力による顧客ニーズの獲得拡大

- 安川電機が取組むDXプロジェクト(YDX)の**プライム経験によるDX推進の経験・ノウハウ蓄積**を継続
- アビームコンサルティングや富士通とビジネスDX分野での戦略的協業を推進中
- DX人材の継続的な育成（SAP認定資格者数：110名（2024.2.29現在））
- 健康保険者向けシステムのプロジェクト管理徹底による品質確保と**保守案件受注獲得への対応実施**

方針2. 社会をリードするAI・IoT製品による事業規模・領域の拡大

- MMLogiStation(倉庫実行システム(WES))は、**カインズ 桑名流通センターでの実績により、自動化の進む大規模倉庫などでの需要**など引き続き**受注が拡大**
- AIサービスのMMEye(画像判定サービス)、MMPredict(故障予知サービス)は**物流市場へ展開を推進**
- Milfee(飼料タンク残量管理システム)は、「飼料流通合理化支援」を目的とした**新サービス開発**
- スマートバス停は、自治体へのアプローチを強化
広告事業を主とした合併会社マチディア株式会社を設立（2023年8月）
- NetSHAKER(学校ネットワークアクセス管理装置)は、**デジタル教科書キャッシュ機能の受注獲得**、大手のデジタル教科書配信クラウド会社（出版会社）とも協業

22-24年度 中期経営計画の遂行状況（2023年度）

方針3．顧客に感動を与えるサービス提供によるストック率の拡大

- ビジネスDXやAI/IoT事業と連携したサービスビジネスモデルを創出
- ビジネスDXサービスに取り組むとともに、**健康保険者向けシステムの運用保守サービスをSIシステム部門から移管**
- 拡大する物流DX分野の保守サービス拠点として**物流DXサービスセンターを開設**（2024年1月）
- AI/IoT事業のサブスク運用に向けたトライアル実施

方針4．社員と会社の挑戦と成長によるサステナビリティ経営の実現

- 若手社員（新卒入社1年目～3年目）の育成を継続的に実施し、成長スピードアップ
- 働きがいや働きやすさなど従業員のエンゲージメント向上の取り組みを継続的に実施
- **チャレンジを応援する制度を新設**（2023年6月）
- 社内DXの推進による業務改革の実現
 - プロジェクト管理システム活用による**品質管理の効果を確認**
 - タレントマネジメントシステムの導入
 - 人事システムの刷新を2024年度稼働に向けて推進中

22-24年度 中期経営計画 2024年度の取組み

方針1. 世界水準のビジネスDX推進力による顧客ニーズの獲得拡大

高収益の継続

2024年度の
取組み

大規模プロジェクト完遂とERP領域の拡大およびデータ活用ビジネスの展開

成長エンジンの強化

- ・ 戦略的パートナー富士通・Abeam社との連携を軸とした**ERP領域の新規開拓・拡大**
- ・ **ビッグデータを活用した新たなビジネス領域の創出**

ビジネス基盤の強化

- ・ **プロジェクト完遂に向けたプロジェクト遂行・管理の徹底と品質確保**
- ・ **安定した運用保守体制の確立**

22-24年度 中期経営計画 2024年度の取組み

方針 2. 社会をリードするAI・IoT製品による事業規模・領域の拡大

物流DXを中心に飛躍的拡大

2024年度の
取組み

物流2024年問題の商機を捉えた拡販加速と導入拡大によるストック収入の確保

成長エンジンの強化

物流DX *MMLogiStation*

- ・ 富士通と協業し、WMSからWESまで全体最適化した倉庫システム導入を加速
- ・ 意思決定支援ダッシュボード「Analyst-DWC」、物流倉庫の2024年問題解決に貢献

WMS : Warehouse Management System (物流センター管理システム) WES : Warehouse Execution System (倉庫実行システム)

ビジネス基盤の強化

物流DX

- ・ AIプロダクトの物流市場への受注拡大

畜産DX

2024年3月リリース

- ・ 飼料流通合理化支援新サービス提供 (Milfeeオーダー、Milfeeデリバリー)

スマートシティ

- ・ 国際興業との連携強化による導入拡大

22-24年度 中期経営計画 2024年度の取組み

方針3. 顧客に感動を与えるサービス提供によるストック率の拡大

ストック率の拡大

2024年度の
取組み

**AQUA発信のサービスビジネス拡大によるストック率拡大と
物流DXサービスセンターを最大限に活用したサービス化促進**

成長エンジンの強化

- **運用データ活用**による新規サービスの創出
導入システムにおける様々なデータを最大活用し、お客様の効率改善を提案
- **システム運用ノウハウ展開**による新規サービスの創出
煩雑なシステム管理を一手にお引き受けし、お客様のシステム管理の負担や人材不足を一挙に解消

ビジネス基盤の強化

- ビジネスDX運用保守体制の強化
- **物流DXサービスセンターの活用**による物流DXサブスク運用体制の確立

22-24年度 中期経営計画 2024年度の取組み

方針4. 社員と会社の挑戦と成長によるサステナビリティ経営の実現

安定収穫と拡大を支援

2024年度の
取組み

事業の安定と拡大を支える社内DX推進とサステナビリティ経営の実現に向けた変革

成長エンジンの強化

- **DX推進からBX推進への展開**
DXツールのフル活用による業務効率化と生産性向上
- **サステナビリティ経営の推進強化**
サステナビリティを取り込んだ経営活動の推進

ビジネス基盤の強化

- 社内DX環境の整備と運用定着
- 成長やチャレンジする社員の増加



株主還元



 YE DIGITAL

株主還元

配当方針

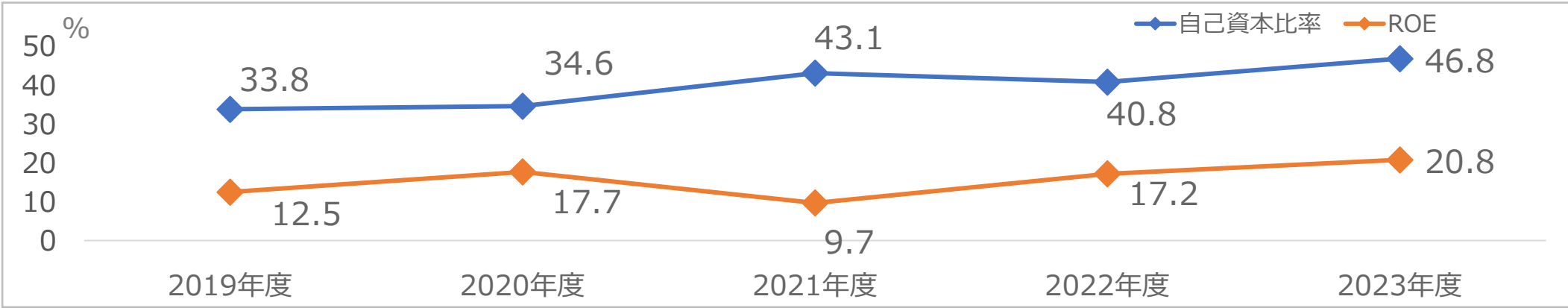
今後の事業拡大に向けた内部資金の確保と株主各位への長期にわたる安定的な配当を念頭に、財政状況、利益水準、配当性向などを総合的に勘案して実施します。

配当方針

2025年2月期 目標配当性向：27.6%
2025年2月期 年間配当予想額：16円（中間：8円、期末：8円） 4円増配

	第2四半期	期末	年間	配当性向
2024年2月期	5円	7円	12円	19.9%
2025年2月期(予想)	8円	8円	16円	27.6%

ROEと自己資本比率の推移



 デジタルで、
暮らしに明るい変革を。

